

ダイヤ改正から1ヶ月経過

問題点改善に向けて申し入れ 27番線の立哨を3名！ 車椅子担当者を増員！

3月16日のダイヤ改正から1ヶ月経過し、幾つかの問題が発生しています。4月23日、問題点改善に向けて申し入れを行いました。以下、申し入れ内容（要旨）です。

1. 27番線における立哨は「直線で見通しが良い」という根拠から2名となっている。しかし、7号車の立哨位置から乗降される旅客により自由席号車付近は見通しが悪く、車椅子等の乗降終了合図を行っても7号車の係員からは見えない状態になっている。よって、安全面から27番線の立哨は3名とすること。
2. ダイヤ改正以降の27番線における1ヶ月間の列車防護スイッチの取扱い件数を明らかにすること。また、他の番線との列車防護スイッチ取扱い件数（確率）の比較を明らかにすること。
3. 27番線に雑誌等を購入できる売店を設置すること。
4. 案内所担当者が車椅子を担当することが常態化しており、案内所において1名での対応が発生している。27番線使用開始以降、案内所に来られるお客様が増えており、1名での対応時はお客様を待たせることがある。よって、車椅子業務を担当する要員を増やすこと。
5. コンコース内の女子トイレ混雑時に、トイレ入口付近で並ばれるお客様により27番線エレベーターに行く通路が塞がれる状態になる。女子トイレ混雑時に、27番線エレベーターに行くためのスペースを確保すること。
6. コンコース内の喫煙ルームの設置時期を明らかにすること。また、27番線利用の喫煙されるお客様とホーム上での受動喫煙防止のために出来るだけ早くコンコース内の喫煙ルームを設置すること。